

本科講座 40

伝票について

ねらい 伝票について理解する。

今までの学習では決算書を作成する第一段階として、仕訳を行ってきましたが、仕訳帳を使わずに、伝票を仕訳の代わりに使用する場合があります。このような会計方法を伝票式会計と呼んでいます。

伝票式会計は入金伝票・出金伝票・振替伝票の3つを使用した3伝票制の方法と、それらに仕入伝票・売上伝票を加えた5伝票制の2つの種類があります。

伝票の種類	内容	種類	
入金伝票	現金の入金を記録する専用の伝票	3 伝 票 制	5 伝 票 制
出金伝票	現金の出金を記録する専用の伝票		
振替伝票	専用の伝票以外の取引を記録する伝票	×	
仕入伝票	仕入の取引を記録する専用の伝票		
売上伝票	売上の取引を記録する専用の伝票		

基本的な事項として押さえなければいけない所は、伝票を見て仕訳をすることも出来ますし、逆に仕訳を見て伝票を記入することもできるのです。

<p><b>入金伝票</b> 平成 15年 5月 1日 売掛金 10,000</p>	<p>例 右の入金伝票の取引を推定して仕訳しなさい。</p> <p>(借方) 現金 10,000 (貸方) 売掛金 10,000</p>
--	--

<p>例 次の仕訳をもとに出金伝票を作成しなさい。</p> <p>(借方) 買掛金 20,000 (貸方) 現金 20,000</p>	<p><b>出金伝票</b> 平成 15年 6月 1日 買掛金 20,000</p>
---	--

3伝票式会計では、入金取引、出金取引以外の取引は振替伝票を使って処理をします。入金伝票・出金伝票では、伝票の科目が決まっていますが(入金・もしくは出金)それ以外の取引の場合は、さまざまな科目が出てきます。ですので、振替伝票は次のような形式になっています。振替伝票の形式は、普通の仕訳と同様になります。

<b>振替伝票</b>			
平成 15年 7月 1日			
借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	15,000	買掛金	15,000

5伝票式ではさらに、専用仕入と売上の専用伝票があると考えます。

一部現金入金の場合

伝票式会計では一部現金取引が試験に出題されることがあります。

一部現金取引の場合は、「取引を分ける方法」と、「取引を擬制する方法」、2つの方法があります。試験では、解答用紙の形式により、どちらかを判断しなければなりません。

取引を分ける方法の場合

伝票記入の際に取引を分ける方法の場合は、それぞれの取引を分割して考えます。

例 次の仕訳を伝票に記入しなさい。  
(借方) 売掛金 20,000 (貸方) 売上 50,000  
現金 30,000

<b>振替伝票</b>				<b>入金伝票</b>	
平成 15年 月 日				平成 15年 月 日	
借方科目	金額	貸方科目	金額		
売掛金	20,000	売上	20,000	売上 30,000	

考え方としては、下記のように考えて伝票に記入するのです。

(借方) 売掛金 20,000 (貸方) 売上 20,000  
(借方) 現金 30,000 (貸方) 売上 30,000

取引を擬制する方法の場合

商品売り上げた際に一部現金などがあつた場合には、一度全て掛で売上げ、その後に現金入金があつたと考える方法です。

例 次の仕訳を伝票に記入しなさい。  
(借方) 売掛金 20,000 (貸方) 売上 50,000  
現金 30,000

<b>振替伝票</b>				<b>入金伝票</b>	
平成 15年 月 日				平成 15年 月 日	
借方科目	金額	貸方科目	金額		
売掛金	50,000	売上	50,000	売掛金 30,000	

考え方としては、下記のように考えて伝票に記入するのです。

(借方) 売掛金 50,000 (貸方) 売上 50,000  
(借方) 現金 30,000 (貸方) 売掛金 30,000

取引を分ける方法か、擬制する方法かを見分けるには、入金伝票を見ればわかります。擬制する場合には、最初に、全額売掛金で処理するため、入金伝票の相手科目は売掛金や買掛金になり、取引を分ける場合には、直接分割するので、相手科目は、売上や仕入れになります。